

お詫びと訂正

本書三八五ページに掲載すべき注1・2・3が抜けていました。読者の皆さまにお詫び申し上げます。該当の注を以下に掲載いたします。

(みずず書房 二〇一九年十月)

1 ブラウンは一九九四年にジェファアソン教育研究センターを設立した。二〇〇五年に彼女が他界すると同センターは閉鎖されたが、ブラウンの活動をひきつぎ、文化生態研究所やコミュニティと環境に関するシエラ研究所、森林労働者・採集者同盟などの、ほかの機関がマツタケ狩りたちを組織するようになった。そうしたプロジェクトはマツタケ狩りのなかから「マツタケ・モニター」を雇った。モニターの役目は、マツタケ狩りたちのニーズを汲みとること、マツタケ狩りたちの知識を活用すること、マツタケ狩りたちの権利拡大のためのプログラムを立案することであった。モニターのなかには、給料が支払われなくなっても、ボランティアとして活動する者もいた。多くの人びとと関係機関の尽力によってプロジェクトは運営された。

2 Peter Kardas and Sarah Loose, eds., *The making of a popular educator: The journey of Beverly A. Brown* (Portland, OR: Bridgetown Printing, 2010).

3 Beverly Brown, *In timber country: Working people's stories of environmental conflict and urban flight* (Philadelphia: Temple University Press, 1995).